



(撮影者) 大野賀代子

基本理念

愛媛県立今治病院は公的中核病院として、地域の皆様に信頼される良質な医療を提供します。

運営方針

- 医療人としての責任と使命を自覚し、患者様の立場に立った医療を提供します。
- 診療機能の充実と高度化を図り、地域社会の医療ニーズに的確に対応します。
- 医療機関との連携を深めて、地域医療に貢献します。
- チーム医療を推進し、医療安全の確保に努めます。
- 公共性と経済性の確保に努め、経営の健全化を図ります。

Contents

- みんなが働きたい病院、受診したい病院を目指して 院長 川上秀生 ……2
- 小児科紹介 小児科 医監部長 手塚優子 ……2
- 第60回愛媛県立病院学会 ……3
- 自転車エルゴメーターってなあに？ リハビリテーション部 竹村玲南 ……3
- 外来医師診察担当表 ……4

みんなが働きたい病院、受診したい病院を目指して 院長 川上 秀生



明けましておめでとうございます。

能登半島地震で幕を開けた令和6年もあっという間に終わり、令和7年を迎えました。昭和であれば100年の区切りの年に当たる今年は、いろいろな意味で新たな時代の幕開けになる年と考えており、その一つに、2040年の医療提供体制の構築に向け、地域医療構想を含めた医療の三位一体改革元年になることが期待されます。新病院建替計画を有する中、県立今治病院もバージョンアップを加速する必要があります。

100年前、昭和元年を紐解いてみました。当時の日本の人口は約6000万人、この100年で倍になっています。出生数は約210万人、人口千人あたりの出生数は34.6人でした。出生数は昭和22年から24年のいわゆる団塊の世代で約270万人とピークを迎え、その後、昭和46年から49年の団塊ジュニア世代で一時的に200万人を超えたものの低下傾向は止まらず、令和5年は約73万人、人口千人あたりの出生数は実に6人にまで減っていることとなります。この人口動態を見るだけでも、今後の日本が生産年齢人口の激減に直面していることがわかります。

政府は、少子高齢化に対応するためにも医療の三位一体改革を本格的に推進し、2040年を目途に持続可能な医療提供体制への変換を目指しています。昨年始まった医師の働き方改革はその一貫であり、地域医療構想や医師偏在対策も具体化されていくことと思います。地域医療構想を策定し、より適正な医療を提供することで医療従事者の労働生産性を上げ、その結果、医師・医療従事者の働き方改革が進み、そういう地区には医療従事者が集まってくるといった仕組みづくり。この改革案は7年前の平成31年に作られたものです。しかし、コロナ禍を経て、少子高齢化は加速、この改革案は更に前倒しで取り組む必要があります。

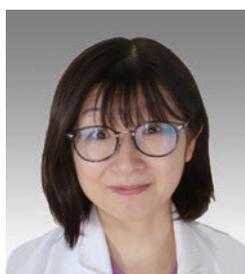
一方、医療の三位一体改革だけでは解決困難な課題があります。それは医療業界の働き手の確保です。医療業界も他業界に劣らぬ人材確保策が必要です。医療の三位一体改革が実現すると無駄のない働きやすい職場へと更なる改善が進むと思いますが、どの業界も同じように取り組んでいます。労働生産性を上げるのみでは不十分で、何より医療業界全体を「働きたい職場」にする必要があります。そのためには医師・看護師を始めとした医療スタッフがお互いを尊重し、心理的安全性のもと、職種を超えて積極的に意見を出し合い良質な医療を提供する、そして自分の成長を感じることができる、各々の能力やチームワークが十分に発揮される職場にしていくことが非常に重要と考えます。

そのような観点から、当院では、全ての職員が当院の基本理念である「良質な医療を提供する」ことによって自分の成長を感じ、働き甲斐を持って働ける病院、ひいては、皆が受診したいと思える病院を目指して、継続的にバージョンアップに努めたいと思っています。

結びになりますが、皆様にとって令和7年が良い年になることを祈念いたしますとともに、当院の運営につきまして引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

小児科紹介

小児科 医監部長 手塚優子



県立今治病院小児科は、今治圏域の中核病院として、地域の子どもの健康と成長を支える責務を担っております。現在、常勤医6名と専門外来の応援医師4名で診療にあたっています。主な診療内容は以下の通りです。

< NICU（新生児集中治療室） >

「地域周産期母子医療センター」として、主に34週以上の未熟児や治療を要する新生児に対して専門的な医療を24時間体制で提供しています。また、地域の中継的医療機関として高度医療機関と連携し、重症新生児の搬送や、高度医療機関での治療を終えた後に自宅へ帰る準備のサポートなども行っています。

< 一般外来 >

平日の午前中は、一般的な小児の診療を行う外来です。当院は「紹介受診重点医療機関」として選定されており、他の医療機関から多くの児をご紹介いただいています。一般外来を受診した後、それぞれの専門医につなげて継続的な治療や専門的検査を行うなど、地域の医療機関と連携して診療にあたっています。

<専門外来>

平日午後は慢性疾患などの専門外来です。地域で完結できる専門分野の診療を目指しています。小児科のカバーする分野は広いのですが、主に以下の疾患を診ています。予約制となりますので、事前にお問い合わせください。

- 循環器疾患：先天性心疾患や不整脈、川崎病罹患後のフォロー、学校検診での二次精査など。
- 神経疾患：てんかん、先天性神経疾患、炎症性神経疾患、筋疾患、脳炎・脳症罹患後のフォローなど。
- アレルギー疾患：食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎など。
特に重症の児は診療応援でアレルギー専門医の外来で診療しており、必要に応じて入院での食物負荷試験などを行っています。
- 腎疾患：ネフローゼ症候群や腎炎、学校検尿の三次検査、クレアチニン検診の二次精査など。
水腎症や膀胱尿管逆流症などの先天性腎尿路形態異常については、小児泌尿器科専門医と連携して診療にあたっています。
- 内分泌・代謝疾患：低身長、甲状腺疾患、思春期早発症、肥満、高脂血症など。
診療応援の内分泌専門医の外来で診ています。
- 発達健診：早産児や低出生体重児など。
未熟性のあった児の発達健診を行っています。

<小児の入院診療>

地域の医療機関からご紹介いただいた重症児や救急搬送された児などの治療のほか、専門分野での検査や治療を行っています。また、育児支援を要する家庭に対する育児指導や環境調整など、入院での家族支援を行うこともあります。

<救急診療>

今治市二次輪番担当での救急日診療のほか、小児の救急搬送、救急病院からの紹介児などを受け入れています。また、日曜当番医として、月1回日曜一次診療を行っています。

近年、少子化問題や感染症の流行、慢性疾患の増加、発達障害などの多様化する小児の健康問題、一方で働き方改革など、よりよい小児科医療をいかに提供し続けてゆくか、地域基幹病院の一診療科として、重要な役割があります。急性期から慢性期、さらには専門的な治療まで幅広い領域に対応することで、地域における小児科のニーズに応え、子どもたちとご家族に安心していただける医療を提供できるよう、スタッフ皆で努めたいと考えています。

第60回愛媛県立病院学会

令和6年11月16日（土）愛媛県男女共同参画センターで、第60回愛媛県立病院学会が開催されました。各県立病院から様々な分野の研究発表を行い、当院では看護部職員が銅賞を受賞しました。また、特別講演として「心理的安全性がない組織は、なぜ危ういのか？」をテーマに講演が行われました。



自転車エルゴメーターってなあに？

リハビリテーション部 竹村玲南

自転車エルゴメーターによる運動は固有感覚（膝や足の位置・曲がり具合）や筋の協調性（股関節・膝関節・足関節のスムーズな曲げ伸ばし）、下肢の循環などに効果が期待できます。

また下肢の筋力向上や全身持久力アップも期待できます。

運動時のポイント

回転数（ペダルをこぐ速さ）と負荷量（ペダルの重さ）は60～70回転/分を維持できる程度を意識して運動してみましょう！



外来医師診察担当表

令和7年1月1日現在

※受付時間は平日の午前8時30分から11時まで（土日、祝祭日、年末年始は休診です。）
 なお、診療科の都合により変更・休診になることがあります。

診療科		月	火	水	木	金	備考	
内科	循環器	1診	大下 晃	川上 秀生	大下 晃	川上 秀生	日浅 悠	() 医師は非常勤 水曜 三好 Dr. 第2・4週 仁志川 Dr. 第1・3・5週 毎月第4金曜日 弁膜症外来 予約患者、紹介予約制 毎月第2月曜日のみ 禁煙外来 午後のみ予約制
	消化器	2診	中西 征司 (午前)	村上 大晟	鈴木 快	中西 征司	吉野 武晃	
	消化器 糖尿病 内分泌	3診	【消化器】 藤原ひなの	【糖尿病】 原 泰彦	【糖尿病】 原 泰彦	【糖尿病】 原 泰彦		
	血液	5診	谷本 一史	第2週応援医師 渡邊 明人	谷本 一史	谷本 一史	渡邊 明人	
	循環器	6診	上谷 晃由	日浅 悠	(三好 徹) (仁志川知晃)	上谷 晃由	小西 里奈	
	循環器						(日浅 豪)	
	脳神経			鴨川 賢二	鴨川 賢二		鴨川 賢二	
	呼吸器		(井上 考司)					
	禁煙外来						当番医	
小児科	一般外来 午前	1診	担当医	村尾紀久子	玉井 葉奈	(藤澤 由樹)	(田内 久道)	() 医師は非常勤 学校検診の2次検診は電話で確認後、受診して ください。 一般外来(午前)については当直等により変 更となる場合があります。
		2診	担当医	担当医	岡本健太郎	手塚 優子	矢野 真啓	
		3診				第1週 (西村 幸士)		
		健診	松田 修	玉井 葉奈	担当医		村尾紀久子	
	専門外来 午後 (予約制)	1診	予防接種	【腎臓】 手塚 優子	【新生児・発達】 村尾紀久子	【アレルギー】 第1・3週 (西村 幸士) 【内分泌】 第1週 (濱田 淳平)	【内分泌】 第1週 (濱田 淳平)	
		2診		【神経・発達】 岡本健太郎	【腎臓】 手塚 優子	【一般】 矢野 真啓	【神経・発達】 岡本健太郎	
外 科 消化器外科	1診	高月 秀典	井上 仁	伊藤英太郎	井村 真 松木ひかり	津田 直希	消化器ストマ外来 月・金午後(完全予約制) 木曜 1診 第1・3・5週 井村医師 第2・4週 松木医師 木曜 3診 第1・3・5週 松木医師 第2・4週 井村医師	
	2診 午前	松木ひかり	井村 真	井上 仁	高月 秀典	伊藤英太郎		
	3診 午前			津田 直希	松木ひかり 井村 真			
整 形 外 科	1診	山本 英広 (午前・午後)	田窪 明仁 (午前・午後)	山本 英広 (午前・午後)	田窪 明仁 (午前)	松本 雅史 (午前)	紹介患者、予約患者のみ 診察受付時間は10:00まで 投薬の受付時間は11:00まで	
	2診	今井 麻央 (午前)	今井 麻央 (午前)	松本 雅史 (午前)				
脳神経外科	1診	瀬野 利太	篠原 朋生	(大塚 祥浩)	瀬野 利太	篠原 朋生	火曜日 午後:手術 診察午前のみ(受付11:00まで)	
心臓血管外科						(泉谷 裕則)	() 医師は非常勤 毎月第2金曜日のみ	
皮 膚 科		村上 信司	村上 信司	村上 信司	村上 信司	村上 信司	診察午前のみ(受付11:00まで) 形成外科外来 第1・3金曜午後(予約制)	
泌 尿 器 科	1診		濱田 斉	濱田 斉	濱田 斉		尿路ストマ外来 月・金午前(完全予約制)	
	2診	沢田雄一郎	応援医師	応援医師		沢田雄一郎	水曜日2診は、第1・3・5週のみ	
産婦人科	午 前	1診	山内 雄策 (初 診)	愛大医師	堀 玲子 (妊婦健診)	井上 翔太 (初 診)	島瀬奈津子 (初 診)	初診診察受付10:00まで 愛大応援 Dr. 火曜日 第1・3・5週 伊藤 恭 医師 第2・4週 中橋 一嘉 医師
		2診	堀 玲子 (初 診)	濱田 洋子 (再 診)	田口 晴賀 (初 診)	堀 玲子 (再 診)	濱田 洋子 (再 診)	
		3診	田口 晴賀 (再 診)	堀 玲子 井上 翔太	井上 翔太 (再 診)	山内 雄策 (再 診)		
	午 後	1診	井上 翔太 (妊婦健診)	島瀬奈津子 (妊婦健診)	山内 雄策 (妊婦健診)	田口 晴賀 (妊婦健診)	濱田 洋子 (妊婦健診)	
		2診	堀 玲子 (再 診)		井上 翔太 (再 診)		山内 雄策 (再 診)	
		3診	島瀬奈津子 (再 診)					
耳 鼻 咽 喉 科	1診	浅井 真紀	川元日向子	(愛大医師)	浅井 真紀 川元日向子	川元日向子		
	2診	川元日向子	浅井 真紀		(愛大医師)	浅井 真紀		
放 射 線 科		菅田 成紀	武田 英樹	永渕 幸奈	武田 英樹	菅田 成紀		
麻 酔 科			正岡衣里那 山下 亜記		入澤 友美		火曜日 第1・3・5週 正岡医師 第2・4週 山下医師	